
THE PC 完全犯罪 SEASON?

沖荒 夢滝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

THE PC 完全犯罪 SEASON?

【Nコード】

N3002T

【作者名】

沖荒 夢淹

【あらすじ】

THE PC 完全犯罪 シリーズ第2弾です。

完全犯罪を始めた神里修一と横川信二、いつもライバルであるその二人の心理完全小説 この話は、1話が1000〜1500文字程度の短い作品です。読みやすいです

第18話 「別れ」(前書き)

通算18話目です

第18話 「別れ」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

シリーズ第1話

エピソード
Episode 18 「別れ」

僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている6年生だ。この間は、殺人事件などがあって、僕の推理力で事件^{もの}を解決し、今まで迷宮入りなしという結果である。

そんなとき、僕に悲劇が

今日は珍しく信二が休んでいたので心配になって信二の家まで行くとそこは警察の集まりがあった。

そこで何があったかと聞くと、信二が誰かに刺されて、今、意識不明の重体だと警察は言った。

そこにある男性が来たそしてこう言った。「私が信二を殺^{やっ}た」顔色も変えずに・・・その態度にム力ついた僕はそいつに殴りかかった！ 許せなかった、何事もなかった顔で“殺した”といったその男のことが

だが、僕は不信に感じた。

・なぜいきなり殺したなどと言ったのか？
・それとなぜ犯行時刻にアリバイがあったのか？
この2つの点が不審に思える。

だが問題なのがそいつが犯人ではないという証拠である。

これから僕は見つけていこうかと思う・・・何があっても。

エピソード
Episode 19 に続く

第18話 「別れ」(後書き)

感想・評価お願いします

第19話 「別れ？」（前書き）

ハードウーダー

第19話 「別れ？」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

エピソード
Episode 19 「別れ？」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としてしている小学6年生だ。前回、突然信二が刺された

事件から2日後・
・
・

僕は絶望感に浸りながら道路を歩いていた。

するとどこからか……「修一」という声が聞こえてきた。

[illegible]

すると信二が札を上げた。その札には……《ドッキリ大成功！》
 ！」その札を見た瞬間僕の不安そうな顔が吹き飛び、恥ずかしくて笑いが止まらなかった。

「もー本当に心配したんだぞー信二!!!」

「ごめんごめん、これも完全犯罪の家だってば！」

こうして僕たちは学校に戻った。次の日には大事な行事が待っているし……

早速、学校に着くとPCCの出番である・・・

ＰＣＣ完全犯罪・・・教室にあるテレビを、３２Ｖから５０Ｖにすり替えた。

ここで最初に気づくクラスで1番頭が切れる嵐山竜一がこれは誰か

第19話 「別れ？」（後書き）

つづくです

第20話 「答え」（前書き）

20話目！

第20話 「答え」

O K I A R A M U T A K I P R E S E N T A T I O N

T H E P C 完全犯罪

波乱万丈の修学旅行、C Cも出てくる編 第1話

エレベーター
E p i s o d e 2 0 「答え」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日・・・

10月19日(水)

この日は僕たち6年生の特別な日だ・・・そう、修学旅行である
今日から2泊3日の有意義な生活を送るのである。

これから始まることを予想もしないで・・・

A M 6 : 3 0

僕たちはバスに乗った。 今回行くのは鎌倉と箱根である

2時間後

鎌倉に着いた僕たちは、信二と組みを作り、鎌倉を見学した。
その時、いきなりCC(犯罪クラブ)(第4話参照)のメンバー嵐
山竜一と本崎二郎が出てきた。

『何の用だ!?』僕はふてくされた顔で訪ねた。

「別に」ニヤニヤしながら嵐山は言った

『まさかもう反撃^{リターンマッチ}に来たのか?』

「リターンマッチ? ノーノー僕たちはPCCをつぶしに来たのさ。
もちろん、確実にね!」

『な、なに!?』

「さあ、大戦を始めようではないか? PCCのメンバー君?」

突然の宣戦布告!?

E p i s o d e 2 1 に 続 く

第20話 「答え」(後書き)

感想・評価よろしくです

第21話 「メンバー」(前書き)

波乱万丈の修学旅行、CCも出てくる編2話目！

第21話 「メンバー」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

波乱万丈の修学旅行、CCも出てくる編 第2話

エピソード
Episode 21 「メンバー」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日・・・

「さあ、対戦を始めようではないか？ PCCのメンバー君？」

『ハハハ・・・前に負けたことがあるのを忘れたのか？嵐山！』

「そう、僕たちは負けた。だがCC（犯罪クラブ）にはメンバーが増えた。もちろん、僕と本崎のほかからね！ だからこそPCC（完全犯罪クラブ）をつぶしに来たのだよ！修一君！」 自信満々の声で嵐山は言った。

『メンバー？』

そう、僕が言った途端に人が二人ほど出てきた。なんとその人たちは、修一といつもテストで1・2位をあらそっている「遠洞一樹^{えんどう かずき}」と「態勢幸^{たいせい こういち}」だった。

『まさか、お前らが・・・』

「そうさ！修一君、いつもテストでは君に勝てないから、完全犯罪では君に勝ってやるさ。」 態勢が言った。

「そういうことだ・・・そこで君たちに提案なんだが今降参すればCCに君たちを加えてPCCをなくすだけで我慢してやってもいいのだが？」 嵐山が不敵な笑みを浮かべた。

『悪いな！ 俺たちは今まで通り最高の完全犯罪を見せて、作り上げていくだけだ』 俺はにやりと笑った。

第21話 「メンバー」 (後書き)

感想・評価くれ！

第22話 「決戦」(前書き)

シリーズ第3話です

第22話 「決戦」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

波乱万丈の修学旅行、CCも出てくる編 第3話

エレゾート
Episode 22 「決戦」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日・・・

その勝負の舞台こそ、この修学旅行だ！！

10月20日（木）修学旅行2日目

完全犯罪の勝負が始まった。

PCCの完全犯罪・・・ホテルのトイレはただの水洗トイレなので、ウォシュレットのトイレと交換。

『これは絶対TOTOにするんだ！』

「なんでだよ！INAXに決まってるんだろ！」

《そこにこだわる！？》

「うるせえ作者！黙れ！」

ギャグ方向にシフトしてる

内容を戻そう！

だが、この完全犯罪は全く役に立たなかった。その理由は、修一たちが仕掛けたのは4階で、その4階は普段ほとんど使われていないので、完全犯罪が遂行されたのがCCにもわからないほどだった。

CCの完全犯罪・・・ティッシュをウエットティッシュと交換

これには修一と信二が激怒した。

『これはPCCの完全犯罪のパクリじゃないか！ お前ら人数が増

えたのにパクリしかできないのか？」

嵐山「それは違うな修一君！！・・・いや、君たちはまだＣＣの怖さをわかってないようだな」

「ああ！弱小Ｃは今でも弱小Ｃだからな！」

嵐山「修一君、減らず口を言っ
てられるのは今のうちだ！」

ＰＣＣの完全犯罪・・・クラスの中須君のウォークマンを、最新型のＩｐｐｏｄと、取り替えた。

中須「な、なんで!？」

でも、中須君のウォークマンは、ホテルの夜に中須君の下駄箱に入れておいた。

「修一君、そんなにうぬぼれないほうがいいよ！　フッフ・・・」

『どういうことだ！』

「フッフッフ　それが知りたければさっさと負けを認めな！」

「いやなこつた！」

その時嵐山はにやりと笑い、通りさつて言った。その不敵な笑みになぜかいやな予感を感じた。

次回、いやな予感の正体が！

波乱万丈の修学旅行、CCも出てくる編 第3話終わり

エピソード
Episode 23 続く

[illegible]

第22話 「決戦」(後書き)

感想！評価！ください

第23話 「いやな予感」(前書き)

23話目！

第23話 「いやな予感」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

波乱万丈の修学旅行、CCも出てくる編 第4話

エレメント
Episode 23 「いやな予感」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日・・・

その時嵐山はにやりと笑い、通りさつて言った。その不敵な笑みになぜかいやな予感を感じた。

10月21日（金）修学旅行最終日

ここにきていやな予感的中した。

いきなり朝食を食べてる大広間の電気がすべて消えた。

『な…なんだ』

そう俺が言い終わるか言い終わらないうちに・・・

「キヤー!!」 「キヤー!!」

次々と女子の悲鳴や男子の叫び声が聞こえてきた。

だが、そのあとは何も聞こえなくなつた声もなにもかも・・・

と電気がついた。 安心して後ろを見ると・・・

その大広間には人一人いなかった・・・信二も先生も、クラスのみんなも

『なぜだ？なぜなんだ!!』

するとお広間の奥から声がした。

「負けを認めろ！神里修一！」

『誰だ!!』

振り向くとそこにはCCのメンバー遠洞一樹、態勢幸一、嵐山竜一、本崎二郎と信二がいた。

『信二、やはりな』

そう聞くと信二が

「ああそうさ神里修一君」

俺は嵐山に聞いた

『どういうことだ！』

すると

「簡単な話さ！君は横川信二に騙されていた。それだけのことだ！」

そう自慢げに言ったので俺は怒って

『こいつが裏切っていたのは知っている。俺が知りたいのは皆がどこに行ったかだ！！早く教える嵐山！』

「安心しろ！ホテルの人と一緒にロビーで睡眠ガスを吸って夢の中さ！」

『な、なんてことを！』

信二「君ほどの推理力があってこの謎が解けないとはね！」
すると俺は、

『それで君たちはおれに何をしろと？』

嵐山「俺たちが望むのはただ一つ！CCに加わってもらっただけだ！」

『ごめんだね！』

僕はきつちり断った

「では君には皆と同じくしばらく眠ってもらうか！おい！」

そう嵐山が言うのと遠洞と態勢が「はい！」と言い、俺の両手をつかんだ！だが俺は武術を極めていたのですぐに引き離し、二人をミゾ打ちして眠らせた。

『おれの人生は俺が作って見せる！お前らなんかには負けない！それだけは言えるさ！』

この後どうする修一！ 次回、シリーズ完結！

波乱万丈の修学旅行、CCも出てくる編 第4話終わり

エピソード
E p i s o d e 2 4 に 続 く ・

第23話 「いやな予感」(後書き)

感想・評価をくださいー!!!!!!

第24話 「緊迫の結末」(前書き)

おわり

第24話 「緊迫の結末」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

波乱万丈の修学旅行、CCも出てくる編 最終第5話

Episode 24 「緊迫の結末」
エレメント

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日・・・

「そついうと思ったよ、修一君！」

そつ嵐山が言つたが俺は

『で、俺に何をするつもりだ？』

俺が聞くと

「なにもしないさ。おとなしくしてくれればね！」

その途端に遠洞に僕の背中にボーガン突き付けてきたのでもう移動するしかなかった。だが、僕は言つた。

『信二・・・もっとわがママを通せよ！』

「！-！」

『それでも変わらないのなら俺はさみしいよ！ただ、ただだよ、お前ともう少し長く居たかった『ライバル』としても『仲間』としてもだ！』

「・・・」

『じゃあ』

ドカ！僕はボーガンで頭をたたかれた。

・・・今は何時だ？あれから何時間経つただろうか？・・・

『うつ！』

まだ痛みが残っていた。

そこへ ガチャ！ガチャ！ドアをこじ開ける音がした。
ボタン！

そこへ信二が入ってきた。

『信二！？』

しばらく信二は黙っていたがしゃべりだした

「・・・悪かったな修一」

信二が俺にかけられていた縄をほどいてくれた

フツと俺は笑って

『信じていたよ・・・信二！』

「さあ、ここから逃げよう！」

そう信二が言った瞬間！

ガツ！ 突然隣の壁に矢が飛んできた。

「裏切ったか！横川信二！」

嵐山の声が聞こえた。だが信二は、

「裏切った？ 何のことだい？ 俺はこいつといたほうがいいし、

これからどんどんPCCをでかくしていくためにまた修一と組んだんだ！ CCなんていうクズにはなおさら負けたくないな！」

だが嵐山は

「お前はCCから逃げることはできないぞ！」

「そんな手には乗らない！ 俺の人生はおれが決める！ それだけだ」

そこで俺も言った

『ああそつだ嵐山君、君たちのしたことはどうやら完全な犯罪なんだよ！・・・そつ、 器物損害罪 不正競争防止法違反 などの

罪に問われるんだよね。まあ君たちもまだ小学生だから捕まりはしないけどね！」

すると嵐山は

「う、嘘を言うなよ」

『知らなかったのか？後、信二に対する 脅迫罪 にも問われる問題だな。・・・そこでだ！ 君たちに提案があるいや、守ってもらわなければならないことがある』

「なんだそれは？」

『それはただ一つ！ 自分のした罪を認め、今すぐ俺たち、いやこの6年生全体に謝罪をすることだ！』

「・・・」

『それができないのなら俺たちは君たちを訴える！』

「・・・わ、わかった・・・」

そういうと嵐山たちは床にひざまずいて、こう言った

《本当に申し訳ありませんでした！！！！》

『さあ、皆が起きたらすぐに謝ってくるんだ！ そのあとはもうおれたたちの前にその顔を見せるな！ 二度とだ！』

そうして嵐山たちはかけて行った

「これでいいのか修一？」

『？ 何がだ？』

「あんなので許していいかだよ」

『ああ、もういいんだ、それに、相棒は戻ってきてくれたからな！』

第24話 「緊迫の結末」(後書き)

y
e
s

第25話 「なぜだ!」 (前書き)

事件開始500文字です

第25話 「なぜだ!!」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

不可能犯罪編 事件開始第1話 1000文字SP

Episode 25 「なぜだ!!」
エピソード

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日・・・

ある日の事件でうまく修一が捕まえられたが、裁判で証拠不十分で釈放になってしまったことからこの事件は始まる・・・

2月12日「最悪の日」

その日修一に電話があった
ぶるるる

『はい神里です・・・あ、検事さんですか?』

その途端修一の顔が青くなつた

『え!? 嘘でしょう!?! はい、はい、では今から行きます・・・いえ、信二は連れて行きません』

そう言つて修一は家を飛び出した。

1時間後・・・

電話で言われた場所に修一がついた。 すると!!

『殺された被害者があいつとは・・・本当だったんですか・・・』

殺されたのは鷺洲^{さぎす}加治木^{かしき}そう、事件の容疑者である。

『くそ!』

修一は床に手をたたきつけた・・・

これで修一は1つ事件を解決せずに終わってしまった。

衝撃の始まり！はたして結末は・・・Episode 26に続く

第25話 「なぜだ!」 (後書き)

感想・評価お願いします

第26話 「問題」(前書き)

久々です

第26話 「問題」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

不可能犯罪編 事件中盤第2話 1000文字SP

エピソード
Episode 26 「問題」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としてしている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日、突然ある事件の犯人が殺されるという事件があった。だが！

2月14日「犯人」

だが、この事件はあっけなく解決してしまった。

警察が犯人を捕まえてしまったのだ。

犯人は、容疑を認め、刑務所に入れられた

『クソ！クソ！クソ！』

ドン！ドン！ドン！

修一は床に手をたたきつけていた。

『なぜ、なぜこれくらいのことを解けなかった！ 警察が解るほどの簡単な事件が！』

修一、修一！

修一の父の声がした。

『父さん、俺は、俺は・・・』

修一、今お前はその天才ゆえの落とし穴にはまってしまったのだよ、今のお前には何かが足りない、それが何だかわかるか？

『わかり・・・ません父さん』

すると父は、

「なら今のお前は、この答えにたどりつくことができない。お前がそれに気づくまでは！」

「待つてくさい父さん、せめてヒントだけでも！」

「ならば教えてやる、ヒントは、お金では買えなくてこの世で一番幸せなものだ！　じゃあな修一、幸運を祈る」

「お金では買えなくてこの世で一番幸せなもの？何だろう？」

次回、それはいつたい
エピソード
Episode 27に続く

第26話 「問題」(後書き)

感想・評価よろです

第27話 「落ちぶれ」(前書き)

シリーズクライマックスです！

第27話 「落ちぶれ」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

不可能犯罪編 事件クライマックス第3話 1000文字SP

Episode 27 「落ちぶれ」
エピソード

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日、突然ある事件の犯人が殺されるという事件があつた。だが！

『お金では買えなくてこの世で一番幸せなもの？何だろう』
初めて修一にわからない問題が2つもできてしまった。

そこに警察の人が飛び込んできた！

「修一君！犯人の比城が逃走した！」

比城とは、今回の事件の犯人で本名は「比城誠也^{ひしやま ちや}」というものである
ここまで来て最悪な事態であつた。 修一は動揺を隠せなかったが
こう言つた

『早く捕まえてください！ あいつには借りがあるんだ！』

「???・・・はい！」

なぜ借りなのか警官は迷つたが、修一の部屋を飛び出して行つた。

するとゆっくりとドアを開け、修一の部屋に比城が入ってきた。

『ようこそ、来ると思つてたよ比城さん』

修一はにやりと笑い、自分の腰掛椅子に座り、比城もソファに座らせた。

「神里修一、盗聴器とカメラは外してほしい」

第27話 「落ちぶれ」(後書き)

感想・評価よろです

第28話 「もう一度」(前書き)

28話目です

第28話 「もう一度」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

不可能犯罪編 事件解決直前第4話 1500文字SP

エピソード
Episode 28 「もう一度」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日、突然ある事件の犯人が殺されるという事件があつた。だが！

バーン！ その音は修一の頭を貫いた。

「さよなら、神里修一」

比城はそういい、どこかへ消えて行つた。

《俺は・・・死んだのか？》暗闇の中で修一は目が覚めた。

ああ、死んだよお前は

そういう人影が現れた

《父さん！》

よう、修一

《ここはどこなんですか？》

修一がきくと天才が

ここは死んだ奴が来るところだ。したがって天国でも地獄でもない、それはわかるか？

《なんとなくは・・・》

《父さん！俺、まだやり残したことがある、早く前の世界に戻してくれ！》

！・・・わかった、だが修一、1つだけ言っておこう

《なんだい？》

また死んだら今度こそ戻れないぞ

《・・・わかった、絶対に戻って来ないよ！ 会えてよかった父さん》

私もだよ、さあ行け修一！

修一は、何度も何度も心の中で父にお礼を言いながらその暗闇のなかから白い光に向かって走った。

ハッ！

ここは修一の部屋だった。撃たれた弾痕は、残っていなかった。

『おれにはやり残したことがある』

そう言つて修一は家を飛び出し、ある、倉庫へ向かった。

ギギギギギ！ 錆びたドアを開けるとそこには20名ほどの黒い服を着た人たちがいた。

その中に、比城もいた。

「神里！・・・どうだい、ケガのほうは？」

馬鹿にした言い方を比城はした。すると修一は

『ああ、おかげさまでね！！』

「何をしに来た！？」

『いや、別に、あなたを逮捕しに來ただけだよ！！比城誠也さん！』

「なに！？ここにいるメンバーがFBIだとわかつているのか？」

『ああ、だが、FBIだろうがゴマだろうがここは日本だ、日本の法律に従ってもらいますよ！』

ウ~~~~ウ~~~~パトカーのサイレンが鳴り、10台ほどのパトカーで倉庫を囲んだ。

『比城誠也さん、「銃刀法違反」、「殺人罪」、「殺人未遂」の容疑で逮捕します。逮捕状はここに』

修一が逮捕状を出し、見せた。

「フ、フハハハ！ こんな紙きれで俺を捕まえられると思うなよ！」

『ええ、思つてませんよ、だからこうして警察を上げておむかえに

上がったわけですよ！」

「ク、ここにいるFBIをなめないでほしいな、皆、構えろ！」

カチャ、カチャ

FBIが警察に向かって銃を構えた。警察はもう銃を構えてはいるが、最悪の事態を考えてか、防弾用のヘルメットをかぶり、構えた。

「やれ！」

ドーン！！バーン！！

FBIが先に発砲した。この2発で警察の一人の足に当たり、倒れた。

「至急応援頼む、FBIが発砲した！こちらも正当防衛で発砲するかもしれない！救急車も頼む！」

「何を話しているその警官！」

比城はどなり散らし、その警官の首めがけて発砲した！見事あたってしまい、その警官は倒れた。

これで15（警察）対21（FBI）となってしまった。

バーン！！バーン！！

FBIは撃ち続けていた。とうとう警察も銃を発砲した。

バーン！！バーン！！バーン！！

「ウツ！」

FBIが一人倒れた。

なおも銃撃戦は続いた。

30分後・・・

両方ともだいぶ減って、5対6となっていた。

そこで修一はあることを考えた。それを警官たちに話すと「うん、わかった」と、素直に聞き入れてくれた。

起死回生をかけた修一の作戦とは一体！？

次回、不可能犯罪編、事件解決

エピソード
Episode 29に続く

.....

第28話 「もう一度」(後書き)

次回、完結！

第29話 「解決」(前書き)

解決！

第29話 「解決」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

不可能犯罪編 事件解決第5話 1000文字SP

エピソード
Episode 29 「解決」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日、突然ある事件の犯人が殺されるという事件があつた。だが！

修一の考えた作戦とは、1、特殊部隊と一緒に強行突破する2、相手側の弾がなくなるのを待つて突入する。

この作戦で、一緒にいた警官たちは、1の方を少々危険だが選んだ。

無線『それでは特殊部隊の皆さん、突入の準備をお願いします』

無線《了解しました》

『では、俺たちは俺たちで突入の準備をしましょう』

ハイ！

10分後・・・

無線《準備完了しました》

無線『了解、では突入しましょう』
わかりました

無線

無線『突入！！』

ダダダダ！！

特殊部隊が、倉庫の壁を突き破り、突入した

「神里！いったい何を！！」

『いったはずだ！俺はお前らを逮捕しに来たと！！』

FBIは、盾をくっつけあい、銃を向けている特殊部隊に取り囲まれた。

1人は降参し、特殊部隊に向かっていた。

すると比城が、

バーン！

そいつの頭に弾を撃ち込み、そいつは倒れて、それっきり動かなかった。

「裏切るからだ」

とうとう怒りがたまってしまった修一が叫んだ

「今すぐ捕まえてください……！」

バン！
バン！
バン！

FBIが対抗して打ちまくっていたが、特殊部隊にかなうはずもなく、すぐにつかまり、修一のところに連れてかれた。

「神里修一……」

『比城誠也！お前の罪に無差別殺人罪の容疑も含めてここで宣言する！比城誠也！お前を銃刀法違反および、殺人罪および、無差別殺人罪の容疑で逮捕する！』

「FBIはお前を必ず許さない、絶対にな！」

「**だとしても俺は正義を行う！！それだけだ！！**」

「思ったとおりだな神里修一、もっと早くお前に会いたかったよ」

修一と会ってから、初めて笑った比城だった。

30に続く・・・

エピソード
Episode

[illegible]

第29話 「解決」(後書き)

続くでえーす

第30話 「最後の完全犯罪？」（前書き）

終わりです

第30話 「最後の完全犯罪？」

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

THE PC 完全犯罪

SEASON? 完結SP

エレゾード
Episode 30 「完全犯罪」

前回までのあらすじ・・・僕の名前は神里修一、完全犯罪を親友の横川信二としている小学6年生だ。この間、信二とPCCを作ってからしばらくしたある日・・・

「イヤー、かつこよかったな修一！」

『おお信二！久しぶりの登場だな！』

「うん、24話目から出てなかったな」

『さてさて、今回は、SEASON? 最終回ということで、最後の完全犯罪SPです！』

「確かにこのごろ完全犯罪なかったな」

『しかも、SEASON? でTHE PCは終わりということなので、これが最後の完全犯罪が出てくる回となるかもです！』

「ファン必見の話だな」

3月某日

この日、修一の学校は、全校朝会があったのでPCCはある完全犯罪を考えた。

完全犯罪：朝会で流すビデオを、カバーテープから、何もかもすり替え、PCCの完全犯罪予告ビデオにする

10分後・・・

先生「では、ビデオを見てみましょう」

体育館のスクリーンにビデオが写された。そこにはスクリーン一面にPCCと書かれた文字と、ヘリウムガスを吸ったときの人の声がした。

【今日の昼休みに、何かが起こる】

ザワザワ 体育館中の生徒や先生が話し始めた。

先生「誰だ！こないたずらをしたのは！」

シーン・・・さっきまでうるさかった体育館がとたんに静かになった。

昼休み

完全犯罪：昼休みが終わると全校中がチャイムにあわせて教室に戻るが、チャイムを15分間延ばす

いつも昼休みが終わる時間・・・

チャイムは鳴らなかった。

15分後・・・

キンコンカンコン チャイムがなった。

放送「全校生徒のみなさん、すばやく教室に戻ってください」

これによって、45分間の小学校の授業は実質どのクラスも15分ほどしかできなかった。

「こんなこともあったなー」

『作者はこの完全犯罪考えるの大変だったんじゃない？』

《イヤー、大変でしたよー》

「では皆さん、SEASON？でお会いしましょう！」

『さよなら〜』

.....

第30話 「最後の完全犯罪？」（後書き）

ご愛読ありがとうございます

SEASON?も待っていてください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3002t/>

THE PC 完全犯罪 SEASON?

2011年8月21日23時30分発行